

市の木
「イチョウ」



いなぎ

広報



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>
 携帯電話版 <http://www.city.inagi.tokyo.jp/i/>
 (左のバーコードを読み取り機能付き携帯電話で読み取ってください)

長期総合計画
特集号

問い合わせ
企画部長期総合計画担当

将来のまちづくり ～新たな長期総合計画の策定～

市では、第一次から第三次にわたる長期総合計画を策定し、これらの計画に基づきまちづくりを進め、交通の利便性や良好な環境を基盤とした首都圏の近郊都市として発展してきました。22年度に第三次長期総合計画が期間満了を迎えることから、新しい時代を展望し、これからの地域社会を持続的に発展させていくために、将来のまちづくりの指針となる新たな長期総合計画を策定しています。新たな長期総合計画の策定に際し市民の皆さんから寄せられたご意見・ご提案などを紹介するとともに、これまでよりも多くのご意見やご提案を計画に取り入れるため設置した「市民会議」での検討状況について、紹介します。

問い合わせ 企画部長期総合計画担当

市民会議での検討状況

20年7月31日に第1回市民会議を開催して以降、長期総合計画策定に関する提言書の作成に向けて、議論を重ねています。

会議の中で、「今後の稲城市のあるべき姿」や「将来都市像と基本目標の検討」というテーマでフリー討論を実施し、その中で「緑」「産業」「にぎわい・交通」「福祉・医療」「災害」「コミュニティ」の6つがキーワードとして取り上げられました。第6回市民会議以降、それら6つのキーワードから、「みどり」「福祉」「地域コミュニティ」の3つの分科会に分かれて、それぞれのテーマに沿った議論を重ねています(表1参照)。

第一分科会「みどり」

「みどりの保全」をメインに公園、市街地、公共交通、河川、農地、防災などを関連課題として議論しています。

第二分科会「福祉」

子育て支援、高齢者・障害者福祉、医療(病院)の充実、教育の充実など、福祉や医療、教育を中心に議論しています。

第三分科会「地域コミュニティ」

産業振興、就労の場の創出、交通利便性の向上、にぎわいの創出、安全・安心できる地域社会づくり、市民の文化・スポーツ活動など多彩な内容を議論しています。

表1 各分科会における討論テーマ

| 分科会 回 | 第一分科会 「みどり」 | 第二分科会 「福祉」 | 第三分科会 「地域コミュニティ」 |
|----------|-------------------------------|---------------|---------------------|
| 第6回 | これからの分科会討論の進め方 | 子育て | 地域コミュニティづくりの方法 |
| 第7回 | 森林の保全と管理 | 障害者 | 安全・安心な地域(防災・防犯) |
| 第8回 | 景観(開発と緑の豊かさ) | 医療 | スポーツを通じたコミュニティづくり |
| 第9回 | 市街地の緑(街路樹、個人の庭の緑) | 子育て | 街のにぎわいづくりと産業 |
| 第10回 | 公園 | 高齢者 | 交通利便性の向上 |
| 第11回 | 河川(防災も含む) | 教育 | 地域コミュニティづくりに向けて |
| 第12回 | 農地 | 男女平等 | 提言書作成・検討 |
| 第13回 | 各分科会としての提言書作成・検討 | | |
| 第14回 | 〔全体会〕提言書の中間まとめ(検討) | | |
| 第15回 | 〔全体会〕提言書の中間まとめ(決定) 3月下旬に開催を予定 | | |

市民の皆さんのご意見・ご提案

市民会議とは別に市の将来やまちづくりに関することについて、ご意見・ご提案を募集しています。

これまでに頂いたご意見などは33件で、概要は表2のとおりです。

表2 はがきやメールなどによる市民の意見・提案

| 分野 | 主な意見の内容 |
|-------------|---|
| 保健・医療・福祉 | 少子化対策への重点的取り組み、老人対策の拡充 |
| 子育て・教育・生涯学習 | 学校図書館に司書を、給食費未納問題対策、長峰地区に児童館を |
| 安全安心・環境・産業 | 農業の活性化、グリーンエネルギーに対する補助制度、公園に木陰を、長峰地区に小規模スーパーを |
| 都市基盤整備 | 環境に配慮した開発、自転車で移動できる街に、坂浜平尾土地区画整理事業の推進、半径500m以内で暮らせるまち 自然を大切に水と健康に寄与するまちづくり、安心して通れる道路、鶴川街道の道路拡張、新市街地の開発よりも既存市街地の再開発を、交通改善(中央自動車道への乗り入れ、バスの増便)、南山開発反対、南山の墓地を希望 |
| その他 | 背伸びしない確実な市政を、川崎市との協定により平尾に潤いを、教育・人材・経済・環境で成果を上げるための行政間の地域連携 |

ご意見・ご提案のある方は、市ホームページ「あなたの声をお聞かせください」内、長期総合計画への提案のページまたは手紙など(様式は自由)の書面で長期総合計画担当まで提出してください。

ご覧ください 市民会議だより

市民会議の様子や議論の概要をお知らせするため発行している市民会議だよりは、市ホームページでご覧いただけます。最新号は、平尾・若葉台出張所、各文化センター、中央図書館でご覧いただけます。



市民会議だより創刊号

(仮称)第四次長期総合計画策定スケジュール(予定)

| 年度 | 21年度 | | | | | | | | | | | | 22年度 | | | | | | | | | | | |
|-------------|------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 市民会議 | → | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地区別・団体別懇談会 | → | | | → | | | → | | | → | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民意識調査 | → | | | → | | | → | | | → | | | | | | | | | | | | | | |
| 意見の募集 | → | | | → | | | → | | | → | | | → | | | → | | | → | | | → | | |
| 長期総合計画審議会 | → | | | | | | | | | | | | → | | | | | | | | | | | |
| 策定委員会(庁内組織) | → | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- 1 地区別・団体別懇談会は、上記以外の時期に行う場合もあります。
- 2 調査用紙が届いた方は、ご協力をお願いします。
- 3 市民会議提言書(中間取りまとめ)について、ご意見を募集します。
- 4 基本計画(素案)について、ご意見を募集します。

市の未来やまちづくりに関する

絵画・作文

市では、市の未来やまちづくりに関する絵画・作文を募集し、絵画387作品、作文218作品の応募をいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。審査会で選出した入賞最優秀賞、優秀賞、佳作(作品のうち、「中学生作文の部」の最優秀作品と、「小学生絵画の部」の最優秀作品・優秀作品を紹介します。問い合わせ 企画部長 長期総合計画担当)

最優秀賞 人と自然にやさしい街づくり

稲城第六中学校 近藤 良樹さん

ぼくは父の転勤に伴い五回の引っ越しの後、六年前から稲城市に住んでいます。両親は家族の事を考えて、この稲城市若葉台を「終の住みか」として選んだのです。稲城市に来る前は神奈川の山や川で遊んで過ごしていたので、東京に引っ越すと知り自然と離れ都会で暮らすのだと思っていました。しかし稲城市若葉台には自然が多く残っていました。野性のキジ、カブトムシやクワガタなどの昆虫、親水公園のホタル、ザリガニ、サワガニ、メダカなど生き物もたくさんいます。ぼくは小学校の六年間をこの自然の中で生き物とふれあいながら育ちました。そしてこの緑あふれる稲城が大好きになりました。

しかし、この数年間でぼくの家の周りは少しずつ変わってきました。大規模なマンションや大型ショッピングセンターができて、車の交通量も増えてきました。朝、キジの鳴き声で目が覚める事もなくなり姿もあまり見かけなくなりました。以前は歩道を歩いていると、草むらから何匹もトカゲやカナヘビが出てきたのに、今では探さないと見つかりません。二三年前までは玄関の明かりにカブトムシやクワガタが集まってくる事もあったのに、今年の夏は一匹も見ませんでした。キジや虫たちの住みかであった草むらは、草が刈られ、整地され次々と建設予定地となってしまいました。

人間が便利に快適に暮らす為には開発も必要です。人が暮らしやすい街づくりには、自然に手を加える必要もあります。大切なのは、残しておくべき自然と開発すべき場所を何十年先の事も考えて、しっかりと選択する事です。最近問題になっている南山問題は、人間が都市開発計画をして山林を切り開き、山砂を採取し、必要がなくなつてそのまま放置された事が原因です。人間が山を崩し、山砂を採取した跡地は、危険な崖地になってしまったのです。一度人間が手を加えてしまった自然はもとには戻らず、危険な崖地となった今は、人間の手によって改善するしかありません。しかし南山の里山には、まだまだ豊かな自然が残っています。できる限りありのままの自然を残した都市計画をしてほしいと思います。公園や緑地をたくさんつくるというのではなく、今ある自然を守るという計画で街づくりを進めていくべきです。ぼく自身、きれいに整備された芝生やブランコやすべり台のある公園で遊ぶより、草原や雑木林で遊ぶことが大好きでした。人間がどんなに優れた技術を使っても自然を作ることはいけません。

これからの稲城の街づくりは、人間にとって快適だけでなく自然の生き物にとっても住みやすい街を目指してほしいと思います。人と人とのつながり、人と自然とのつながりを大切に十年、二十年後も稲城市が大好きだと言いたいと思います。

最優秀賞

未来へ(緑いっぱい稲城)

城山小学校 和田 絵宙さん



優秀賞

未来の稲城の風景

稲城第一小学校 萩原 聖美さん



優秀賞

未来の稲城

稲城第三小学校 五味 晶彦さん



優秀賞

お年寄りや子どもたちの笑顔が 光る町・稲城

城山小学校 西田 晶海さん

